

舗装施工管理技術者技術講習会



去る平成27年9月15日、日本道路建設業協会(道建協)は、2015年度舗装施工管理技術者技術講習会を名古屋市中区の名古屋産業振興公社デザインホールで開きました。

中部支部会員企業などから235名が参加し、舗装事業を

めぐる社会情勢や最新の舗装技術・法令などを学びました。冒頭では、同協会中部支部の青野俊弘支部長が「東日本大震災などの大規模災害でも素早い対応・復旧に活躍したのは、業界の誇りである。今後も能力を高め革新的な技術開発で社会に貢献していきたい。この講習を技術力、知識の向上にいかしてほしい」と挨拶をしました。

プログラムでは、まず国土交通省中部地方整備局道路部の田邊千秋道路情報管理官が「舗装事業をめぐる社会・経済情勢と各種制度」について御講演をされました。

このあと協会からは、環境・安全委員会安全部会の加藤秀幸委員が「舗装工事の安全対策」、同仲村功委員が「建設副産物対策」、技術委員会の安藤政浩委員が「最近の舗装技術の動向」についてそれぞれ解説を行いました。

今回の講習でもCPDS認定プログラムで5ユニットが付与されました。



青野支部長挨拶